

令和元年度福島県子どもの心のケア事業 専門職派遣事例紹介

～「親子のふれあい事業」へのベビーリトミック講師の派遣～

機関名：大玉村

専門職派遣を活用した事業

〈親子の触れ合い事業〉

震災に伴う原発事故の影響で子育て中の母親は、心身ともにストレスを抱えやすい状態が続いています。親子のスキンシップのひとつであるベビーマッサージを体験することで、親子がふれあう機会となり、さらに保護者同士の交流の場と専門の講師への相談ができる場として開催しました。

専門職種と派遣申込み理由

〈ベビーリトミック講師〉

ベビーリトミックにより、子どもへのかかわり方についての指導をいただくために派遣を依頼しました。

専門職派遣による効果

ベビーリトミックを通して「子どもとのスキンシップの取り方やかかわり方を学べてよかった」、「他の母親と同じ悩みを共有できてよかった」「便秘解消や入眠にも効果的で、家でも継続したい」「子どもと1対1で関われる機会が家ではなかなか持てず、ほっとする時間になった」等の声があり、母親たちが、楽しくお子さんと関われる場となりました。

今後の市町村事業と専門職について

ベビーリトミックを通し親子がふれあう機会を持つことは、日々の子育ての中にほっとする時間を作り子育ての不安を解消できる貴重な機会であると感じます。今後も講師の協力を得ながら、親子がふれあえる場として開催していきたいと考えています。